

町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。

具合の悪い時はいつでもご相談ください。

☎0237-74-2211



町立西川町病院  
キヤラクター「おひさまん」

NETWORK

# にしがわ

2024  
令和6年  
12月号  
No.825

## 主な内容

P2 | 西川町の雪対策について

P4 | まちづくNEWS



本格的な除雪を前に**雪対策**について再確認しましょう！

## 西川の雪対策について



## 効率的かつ持続可能な除雪を目指して

### 除雪安全祈願祭を開催！



**11**月15日、水道管理センター車庫にて、西川町除雪安全祈願祭及び除雪車の出動式を開催しました。今年も地元区長からも参加いただき、町・地元・除雪業者の三者で作業の無事故を祈願しました。その後、除雪業者との対話会を実施し、町道沿線の雪置場の確認など、両者が安心して除雪が出来る体制が整いました。

毎年恒例となっているにしかわ保育園での年長児の乗車体験では、除雪車の窓から見下ろす景色に子どもたちから歓声が上がりました。

また、今年の2月28日に、町は建設クラブと「覚書の締結」を行い、予算面での暖冬対策と工期の柔軟化を実施しています。昨年、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した「除雪管理サービス」を導入。住民生活に不可欠な除雪作業の効率化と除雪管理者の作業軽減を図り、持続可能な除雪を目指していきます。

▲除雪安全祈願祭の様子

▲にしかわ保育園での乗車体験の様子

### ◆町道などの除雪について



**●除雪車の出動基準**  
新雪深が10cm以上になると判断される場合、また雪崩などで交通不能になった場合に除雪車が出動します。

**●早朝除雪の作業時間**  
早朝除雪については、おおむね午前8時をめぐりに1車線確保することを目指します。その後、公共施設などの除雪を行い、午前8時30分の作業完了を目指します。

**●除雪路線の延長**  
町道の除雪延長は91.3km（うち交換路線8km）に及びます。これは町道総延長（193.9km）の47.0%にあたります。このほか、公共施設の駐車場や、国道34kmと県道35.1kmを除雪するため、除雪の総延長は160.4kmにも及びます。

**●除雪機械の稼働台数**  
除雪作業については全線委託作業とし、作業で稼働する除雪機械は、除雪ドーザ13台（町から委託業者への貸与6台、委託業者からの借り上げ7台）と、ロータリ除雪車2台、小型ロータリ除雪車1台の計16台を運用します。

**●除雪支援箇所の把握**  
本格的な除雪シーズンに向けて、各地区の代表者と委託業者による現場確認や現地打ち合わせを行い、より支障のない除雪作業ができるよう、調整を図っていきます。

**●集落道などの除雪対応の拡充**  
町が通常除雪をしない集落道などについては、区長または町内会長からの依頼により除雪作業を行う予定です。

【お問い合わせ先】建設水道課建設係 ☎0237742116

### ◆高齢者世帯等の除雪支援



**●高齢者世帯等除雪支援事業について**  
自力で除雪ができない高齢者の除雪費用の軽減をはかり、冬期間でも安全で安心な自立した生活を確保するため、本町に住所を有し、居住実態のある世帯に対して除雪費用を支援します。

**●支援対象者**

- 65歳以上の高齢者世帯
- 重度障害者（身体障害者手帳1・2級、医療手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかに該当）
- ひとり親と18歳未満の子（当該年度に18歳に到達する子を含む）

**●支援限度額（除雪費の1/2を支援します）**  
1世帯あたり1シーズン最大20万円を支援（除雪費40万円までの半額）

**●手続き方法**（昨年より簡単になりました）

- (1) 除雪希望者は、業者や個人へ依頼する。
- (2) 除雪を依頼した業者や個人に対して、請求額の「半額」をお支払いして完了。  
※残り半額の支払いは、除雪を行った業者・個人が保健センターまで請求書を提出し、後日振り込みを行う手続きになります。

**●支援対象期間** ▼令和6年12月1日～令和7年3月31日

【お問い合わせ先】健康福祉課在宅支援係 ☎0237743243

# まちづくりNews

## 企業版ふるさと納税を いただいた企業へ感謝状贈呈

企業版ふるさと納税を活用して寄附をいただいた企業へ感謝状を贈呈しました。



「ジャパンクリエイティブ株式会社」  
▼寄附活用…「育む！」子育ての希望をかなえ、この地域ならではの学びを保障するまちづくり事業



「有限会社イーリスコーポレーション」  
▼寄附金額…1000万円  
▼寄附活用…「稼ぐ！」地域の資源とデジタルを融合させた魅力ある産業・仕事づくり事業



「株式会社福寿館」  
▼寄附金額…100万円  
▼寄附活用…「持続する」デジタル田園都市の実現に向けたまちづくり事業など

## 町長とのみらい対話会を開催

10月31日から11月24日に、13地区で町長とのみらい対話会を開催し、約400人の方に参加いただきました。

町長より町の現状や課題、今年度行った取組みについて説明後、参加者との対話会を実施。各地区それぞれからご意見やご要望などをいただき、来年度以降の施策づくりに活用していきたいと思っております。



▲岩根沢地区での対話会

## 西川町芸術・文化のさらなる発展に向けて 協議会と対話会を開催！

芸術文化協議会（長登恵子会長）の活動や町文化祭をより良くしていくための対話会を11月6日に、トラスで開催しました。

芸術文化協議会の会員15名にご参加いただき、まず始めに、昨年の対話会でいただいたご意見等に対する町の取り組み状況を報告し、その後、今年の文化祭の感想や、さらなる改善要望等をいただきました。

対話会の中でいただいたご意見は、一度整理した上で、今年度行えるものは実施し、来年度以降に対応できるものについては予算に反映させていただきます。



▲前向きな意見、要望が数多く出される

## 三山電車の有効活用に向けて対話会を開催！

今年10月に修復作業が完了した三山電車車両の文化財としての位置付けや保存・活用方法について、課題を整理し、アイデアを共有するため、対話会を11月11日にトラスで開催しました。三山電車保存会の会員7名にご参加いただき、ワークショップ形式で保存場所や活用方法について意見を出し合っていた。その後、グループごとに発表していただきました。

今後も対話を通じて検討を重ねていき、方向性を定めていきます。



▲多くのアイデアが出される

## 安全なスクールバスの運行を スクールバス運行対話会を開催

11月6日にトラスで「スクールバス運行対話会」を開催しました。対話会には小中学校の担当者やスクールバス運転手、運行に関わる関係者が参加しました。

対話会では、現在のスクールバスの運行状況や児童生徒の様子を報告し、危険な乗り方や運行に対する要望が出されました。また、課題も出し合い、その課題解決のための方法も話し合いました。

この対話会で話し合われた結果を冬期の運行から取り入



▲安全な運行のために

れ、子どもたちが安心してスクールバスの利用ができて、安全に送迎できるように再確認を行いました。

## 町駅伝大会に代わる新たな大会を！

今年度、第70回の歴史に幕を下ろした町駅伝に代わる新たな大会を検討するため、11月14日と21日に対話会を開催しました。令和4年度に実施したアンケートでは、約8割の方が新たな大会を望む結果となったほか、半数以上の地区で人員不足等によりチーム編成や中継所運営が厳しくなったことが明らかになりました。

対話会には、新たな大会に選手やチームスタッフ、運営側として携わりたい方々が参加され、魅力があり持続可能な



▲グループごとに話し合いが進められた

## 高齢者の学びの場を創出するために いきいき健幸対話会を開催！

60歳以上の方の学びの場を新たに創出するため、対話会を11月26日に交流センターあいべホールにて開催しました。

約100名の方に参加いただき、アンケート形式で「どのように、何を学びたいか」等の項目についてご回答いただいた後に、意見を発表していただきました。

対話会の中でいただいたご意見は、一度整理した上で、来年度の具体的な事業実施につなげていきます。



▲さまざまなニーズ・要望が活発に出される

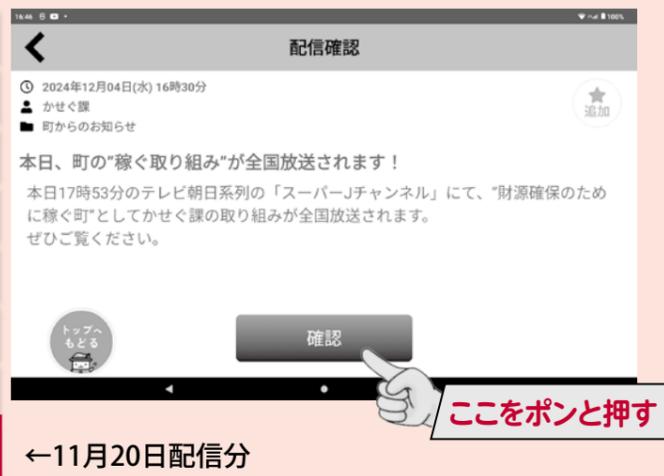
# まちづくりNews

## 押して!つながるくんの「確認」

西川町は、国の方針に従い、つながるくんを通じて、誰一人取り残さない地域作りを行い、国からの交付金10億円以上を得ています。

この額は、県内町村トップクラス。つながるくん稼働の証拠である「開封率」は60%を確保したいです。ぜひご協力ください。

地区名 / 開封率	地区名 / 開封率
睦合 54%	原 67%
海味 59%	沼山 53%
間沢 60%	入間 79%
綱取 67%	小山 27%
岩根沢 76%	本道寺 71%
水沢 66%	大井沢 54%
吉川 63%	平均 60%



←11月20日配信分

ここをポンと押す

### 「確認」押す



### 給食費無料



### ミニデイ支援強化



つながるくん、スマートフォンの操作などは、トラスの相談窓口か、つながるダイヤルへ!



- つながるダイヤル ☎080-7245-1868
- デジタル相談窓口  
場所：トラス  
時間：(平日)9:00~17:00

## 世界フォーラムの芸術家が睦合公園に出羽三山をイメージしたアートを制作

### ■町に新たなシンボルを

世界経済フォーラムにより組織される33歳以下の若者によるコミュニティ「Global Shapers Community Tokyo Hub (以下GSC)」が、町制施行70周年に併せ、睦合公園に巨大なアート作品を制作しました。この取り組みは、国道112号線沿いの睦合公園に、三山信仰に由来する西川町の新たなシンボルを作り、睦合公園を人が訪れる場所にするために町も協力しました。



▲完成したシンボルアート

### ■外国人誘客のほずみに

いま、西川町には、インバウンド誘客に向けた追い風が吹いています。9月には、観光庁「高付加価値なインバウンド観光地づくり」に採択されたほか、11月には国連世界観光機関(UNWTO)が行う世界的な「ベストツーリズムビルディング」の認定を受けました。芸術作品である巨大アートは、観光客が写真に撮って発信することで、西川の魅力もあわせて広報してもらいたいと制作したものです。地元に住む私たちには理解に時間がかかるものでも、町を訪れる観光客、特に国外からの台湾など雪のないアジア圏域、そして欧米豪のラグジュアリー層の皆さんなど、出羽三山信仰文化にやどる情緒的なものに価値を見出すインバウンド誘致には、このアートが欠かせないものとなるべく可能性がります。睦合公園に「際目立つアートオブジェクトを設置することで、今後は、月山や朝日連峰はもろろん、岩根沢三山神社や口の宮湯殿山神社、大井沢湯殿山神社への誘導につながる」ことが期待されます。

### ■作品テーマは「つなぐ」

アート作品には、町と町民、町民同士、さらには町民と関係人口がつながることへの期待が込められています。また、過去、現在、そして未来をつなぐというコンセプトも秘められています。作品は、輪をイメージして柱を円になるように設置されました。柱の色は町の未来・活気を表すために「赤」を使用。また、作品単体で完成ではなく、季節によって作品が変化します。例えば、冬の期間なら「雪」の反射、春・秋の期間なら「花」とのコラボレーションなどが想定されています。季節によって、アートの違いを楽しむことができます。



▲タウンミーティングの様子

### ■巨大シンボルアート完成

11月4日、新たに町のシンボルとして作り上げる巨大アートに「西川町への想い」を書き込むイベントが開催されました。町民や関係人口の方など約40名が参加。高さ3メートルの鉄柱16本に思いの言葉を書き入れました。最終的に鉄柱は全面朱色に塗装されたため、文字はかくれてしまいましたが、確かな記憶がアートに刻み込まれました。地元の対話会でも、近くに雪像をつくってみてはといったアイデアが出されました。地元と関係人口と観光協会が一緒になった冬のイベントを創出していきます。



▲思い思いの言葉を書く参加者



菅野大志の

# 「いどばた会議」

vol.29

まちづくりに関する活動や近況などを  
西川町長・菅野大志が綴ります。

## 1. 国連が西川町を自然のものを活かした観光地域として認定！

このたび西川町は、国連世界観光機関（UNWTO）が行うプロジェクトで持続可能な観光地域に与えられる称号「ベストツーリズムビレッジ」に県内初、日本では7番目に選出されました。

日本のこれまでの選出は、6町村のみであり、今回の選出で世界に認められる日本有数の観光地としての仲間入りを果たすことになりました！

●日本の選定地域は以下の通りです。

- 北海道ニセコ町、京都府美山町
- 北海道美瑛町、宮城県奥松島地区、長野県白馬村、岐阜県白川村
- 山形県西川町、鹿児島県天城町



▲採択を受け、観光庁参事官からレプリカをいただきました

これまで町は、出羽三山信仰や山菜等の自然の恵み、自然を活かした観光で栄えてまいりました。一方で、豊かな自然環境の代償ともいえる雪が人口減少に拍車をかけました。

この度の受賞は、先人の方々による不断の努力の賜物でございます。これからは、雪を含めた、今ある自然・営みを活かして観光を通じた地域の活性化に取り組みます！西川の自然・暮らし・文化そのものを観光商品とし、観光を通じて生業が生まれることで、地域を守り、食を守り、おもてなしや信仰の文化を守っていききたいと思います！自然体の観光で生業をつくる！これに徹したいと思います！

また、今年9月、観光庁から、リッチな観光客向けのモデル観光地として、山形県が採択されました。その中心は、三山信仰であり、西川町への観光にも更なる追い風となりました！

国連のホームページ▶



### Innovative Snow Tourism and Gastronomy

Nishikawa's unique snow conditions—boasting snow depths of over six meters for up to nine months—make it an exceptional destination for winter tourism. Activities such as summer skiing and the innovative Snow Inn experience offer visitors distinct

## 2. 西川町が「かせぐ町」として、立て続けに全国放送で紹介されました！

今、話題の「103万円の壁」。これを上昇させることにより、地方自治体の税収が減少する可能性がある。そんな中でも、西川町は、自力で「かせぐ自治体」として、TBS 毎週土曜日夜に放送する「情報7days ニュースキャスター」と、テレビ朝日の夕方の全国ニュースで紹介されました。

出演した、内藤副町長、かせぐ課の石川課長、横川主事、お疲れさまでした。

私は、トイレにいるときでも、いろんな省庁のホームページで補助金がないか探して、職員とともに勉強して、町民の皆様の笑顔を見ること、悩み事を解決することが生きがいです。



▲ニュース動画はこちら

# 今月の大ニュース！

## 『西川町が国連世界観光機関の ベストツーリズムビレッジに選定！』

ご登録お願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット

その時に、いつも思うのは、国は、高齢者への給付はある程度充実しているものの、高齢者の健康寿命増進に向けた取組の補助金が少ないと感じていました。

しかし、健康寿命を延ばすために、ミニデイをするにも、文化芸能活動を支援するにも、町のお金を使っています。これから、たくさんミニデイやいきいきサロンや文化芸能活動を応援したいと、稼いだお金を「高齢者支援等かせぐ基金」として貯めることにしました。

公園や月山カヌーセンターの愛称の命名権NFT、デジタル住民票の販売。相談・講演料は50万円、視察料は1人5,000円をいただいて、稼いでいます。

これからも、前例にとらわれずにいろいろ考えていきたいと思います。

### 成果

## 高齢者支援等かせぐ基金の創設

収入		支出	
デジタル住民票や講演、命名権等のNFT	466万円	いきいきお茶のみ会開催補助 ・開催支援（1万円/月→最大3万円/月） ・立ち上げ支援（初年度100万円、2年目50万円）	500万円
行政視察料	129万円	带状疱疹ワクチン接種補助	110万円
トレーラーサウナ等 行政財産の売却	930万円	在宅介護応援 ・支給額増（3万円→5万円）	110万円
収入見込（デジタル住民票第2弾）	180万円	今後使用予定額 オムツ支援強化、病院支援 等	985万円
合計	1,705万円	合計	1,705万円

私たちが  
頑張りました！



石川課長



渋谷係長



横川主事

## 3. 本年は、町の取組にご理解、ご協力、ありがとうございました！

私が子どもの頃感じていた劣等感。中学・高校のころ、西川に住んでいることで、なんとなく感じていました。

今の子どもたちには、そんな劣等感を感じさせたくない一心で（視察料や補助金獲得などで）かせぎ、人をつなぎ、町民の皆さまが笑顔でいられるよう、職員と共に頑張ります！みんな、仲間だ！エイエイオー！来年もよろしくお願いたします。

# ~おめでとうございます~ Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。  
※敬称略

■入選  
▼彫刻部門▽「青春夏の思い出」  
鈴木清介さんコメント  
二度失敗しながら半年ほどか  
け制作。評価していただけて  
うれしー!



▲「青春夏の思い出」

■入選  
▼工芸部門▽大井沢産山ぶど  
うカゴ」伊東広さんコメント  
これからも大井沢のつる細工  
を広めていきたいです!



▲大井沢産山ぶどうカゴ

■奨励賞  
▼工芸部門▽くるみ皮のバッ  
グ」渋谷保男さんコメント  
「PPバンドで作るはげこの編  
み方から着想し製作。そこを評  
価してもらったのかなと思う」



▲くるみ皮のバッグ

県内最大の公募展である「第79回県総合美術展」において、工芸部門で渋谷保男さんが奨励賞、伊東広さんが入選、彫刻部門で鈴木清介さんが入選されました。  
同展は、日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門で作品を一般公募。今年、470点が出品されました。入賞・入選作品は山形美術館のほか、県内9市町を巡回しました。

## 町から3名が入賞・入選 第79回県総合美術展

# いきいき健幸人

西川で元気に輝く皆さんを紹介します



▲後藤武志郎さん(83歳)・睦合

### 後藤 武志郎さん

歯が多いほど健康寿命が長くなり、80歳で20本以上の歯を保つことが理想とされています。

後藤さんは、歯を悪くした時があり、そこから歯のケアを大切にしてきました。今年、80歳以上の方で20本以上の歯を持つ方を対象にした「HAPPY COME COME 8020達成者コンクール」で優良賞の1人に選ばれました。後藤さんは、「歯が丈夫だから、硬いものでもなんでも食べられる」と嬉しそうに話します。

また、歯の他にも毎朝散歩をし、1日1万歩ほど歩いています。散歩は40年以上続けており、雨の日も雪の日もかかさず歩いているそうです。

後藤さんは「今は老人クラブ連合会会長などの職を務めている。まだ頑張れると思うので、今まで通り歯のケアや散歩など、健康に気をつけて、少しでも町の役に立てたらと思う」と話しました。

## 地域とともに歩む西川町立病院

### 医師を志す皆さんに実習の場を提供しています

以前にも医療機能維持のための医師確保の話題を紹介しました。今回は、非常勤の医師確保のための町として行った具体的な取組みのほか、9月から11月にかけて当院で実習を行った臨床研修医のお二人からのメッセージを紹介します。



▲依頼書を手渡す菅野町長（中央が高木教授）

当院は山形大学医学部などから医師の派遣協力を受け、非常勤医師として、外来診療、休日診療を含む宿日直などで支えていただいています。  
こうしたご協力を継続していただきながら関係性をより強くするため、菅野町長と武田院長が同大学を訪問し、日頃の御礼と来年度の派遣の依頼を行いました。  
11月28日には、整形外科科学講座の高木理彰教授（附属病院副院長）を訪ねました。当院の整形外科は毎週月曜の診療ですが、祝日が多く予約の取りづらい状況が続いているため、他の曜日での診療の検討をお願いしました。  
今後このような訪問活動を継続していきます。

菅野町長と武田院長が  
山形大学医学部を訪問



▲訪問診療を行う東岡先生

今回、9月17日から10月11日までの4週間という短い期間でしたが、西川町立病院で研修をさせていただきました。  
業務としては人間ドッグの診察や訪問診療といった地域医療ならではの業務を経験させていただきました。急性期病院とは違い、大半が大きな疾患のない患者さんでしたが、健康な人を何十人も診たり、常に何か隠れた病気がないか考えたりすることで、正常と異常の違いが明確になったと感じました。  
月日が経つのも早く、業務に慣れてきたところで研修が終わってしまい大変残念ですが、この4週間で学んだことを今後の研修や将来に活かしていきたいと思えます。西川町の皆さま、本当にありがとうございました。

研修医の東岡永太郎先生から  
メッセージをいただきました



▲予防接種を行う加藤先生

この度10月15日から11月8日までの4週間に渡り、西川町立病院で地域研修をさせていただきました。  
西川では、地域の皆さまとともに過ごし、外来や訪問診療、健康診断などを通して、多くの貴重な学びを得ることができました。日々の診療で、皆さまが医療者に対して寄せてくださる信頼の深さを感じ、その信頼に応えるために、限られた医療資源の中でも最善を尽くすことの重要性を実感しました。  
また、健康診断では予防医療の大切さを改めて認識し、皆さまが安心して暮らせるお手伝いをしたいと強く思いました。この経験を通じて、地域医療の一員としての責任を改めて感じています。温かく迎え入れてくださった地域の皆さま、そしてご指導いただいた先生方に、心より感謝申し上げます。

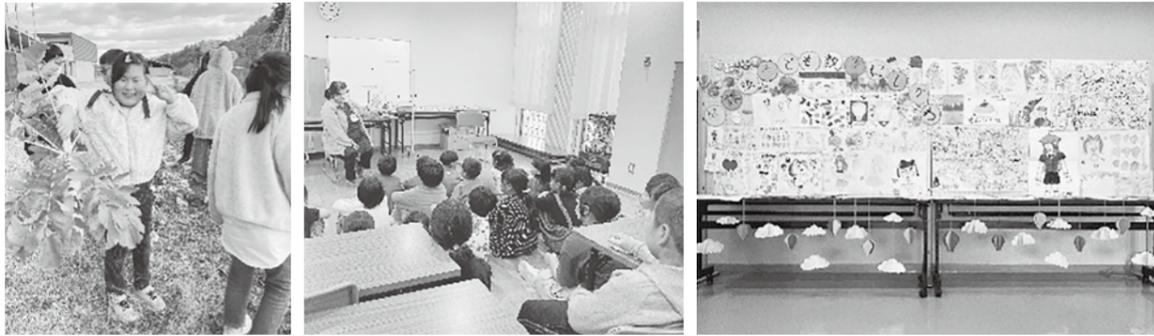
研修医の加藤直人先生から  
メッセージをいただきました

# 放課後子ども教室にしかわ

## 活動紹介

あっという間に秋が過ぎ、冬の足音が聞こえてきましたね。子ども教室では先日、大根掘りを子どもたちと一緒に行いました。「うんとこしょ、どっこいしょ！」と大きな大根にびっくり！寒さに負けずにたくさんの大根を収穫してくれた、たくましい子どもたちでした。

半年間子ども教室前の廊下に思い思いに貼っていった子どもたちの作品は町の文化祭で展示していただきました。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です！

【お問い合わせ】  
まなぶ課 ☎ 0237-74-2114



### ■ 食事できいき健康！ 1日60gたんぱく質食べていますか？

たんぱく質とエネルギーが不足して低栄養状態になると、病気にかかりやすくなったり、筋肉が減ったり、認知機能が低下することから、これまで通り元気に生活することが難しくなります。

たんぱく質は、筋肉や骨、血液などをつくる材料です。「歳をとったから、肉魚は少なくてよい」というのは大きな間違い。しっかりとたんぱく質をとることが大切です。

#### 1日にとるたんぱく質60g

- 肉** 薄切り肉3枚(約60~70g)
- 魚** 1切れ(約80g)
- 卵** 1個(約50g)
- 豆腐** 4分の1丁(約100g)
- 牛乳** 1本(約200ミリリットル)以上

これら全て食べると、たんぱく質60g!

たんぱく質推奨量 g/日	男性	女性
18~64歳	65	50
65歳以上	60	50

どの年代でもたんぱく質が重要！

- ◆ 毎食1皿は、たんぱく質のおかずを食べよう。
- ◆ 食欲がないときは、湯豆腐や卵おじやなど食べやすい調理法でたんぱく質をとろう。
- ◆ 市販品を上手に活用しよう。  
(お惣菜やレトルト食品など)
- ◆ 間食で不足しやすい栄養を補給しよう。  
(ヨーグルト・チーズ・プリン・カステラなど)

## おたすけ隊活動中！ ~町のお困り事を手伝います~

【活動内容】 8期：3名(11月9日~11月22日)

町民	雪囲い設置・薪割り・舞茸菌植え・ゴミの分別など
にしかわ保育園	雪囲い設置
みどり共創課	クマののぼり旗撤去
建設水道課	除雪安全祈願祭のお手伝い
健康福祉課	米寿賀詞贈呈同行
まなぶ課	町民グランド整備
企画財政課	つながるくん確認ボタン説明訪問
地域コミュニティ	海味いってみっぺお手伝い
玉谷製麺所	たれ詰め作業
西川町総合開発株式会社	塩蔵わらびの袋詰め、根曲がり竹の間伐、花移植



【お問い合わせ】  
イノベーションハブ TRAS いそあい  
☎：85-0155 担当 磯合・横山

## 図書館さ、いぐべ〜。

お問い合わせ  
西川小学校図書館 ☎ 85-0077

### ■ ファンタイムライブラリー2024

11月30日にファンタイムライブラリーを開催しました。午前の部と午後の部に分かれ、午前の部ではサークルぴーつくさんによるおはなし会と工作教室、午後の部では叶和美氏による防災講座を行いました。多くの方にご来館いただき、ありがとうございました。



### ■ 12月のおはなし会

日時：12月21日(土)  
10時30分~

- ・もりのおふろ
- ・もりのクリスマス
- ・だれかがりんごをかくしてる？
- ・あんたがサンタ

### ■ 特別企画展 「町長の本棚 第2弾」

12月7日より展示貸出しています。  
ぜひご来館ください。



皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係

0237-74-2112 tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

## 2024「西川地域未来塾」 ～秋期受験対策講座～

西川中3年生を対象に、町主催の「西川地域未来塾」秋期受験対策講座（全3回（11月9日、16日、17日）を、交流センターあいべで開催しました。秋は、受験生にとって力を伸ばす大事な時期です。参加者は、数学、英語それぞれで自分の実力に合わせてコースを選択し、熱心に学んでいました。参加者からは、「一人だったら、後回しにしがちな分からない単元も、すぐに質問ができてとてもよかった」「秋季講座で、定期テスト範囲の不安だった箇所を確認することができた」などの感想がありました。



▲熱心に講座を受ける生徒たち

## バレーボールで壮年層の親睦を！ 壮年バレーボール大会開催

町内壮年層の親睦を深めてもらうと、11月24日に町民体育館で壮年バレーボール大会が開かれ、公民館単位で出場した6チームが熱戦を展開しました。今年は、町内5地区の公民館から6チーム約70人が参加。なかなかボールが落ちない白熱した試合展開に、参加者は得点が入ると喜び合っていました。

- ▲大会結果
- ▼優勝 ネコマザワ（間沢）
- ▼第2位 海味A（海味）
- ▼第3位 Yoshikawa（吉川）
- ▼第3位 入間（入間）



▲優勝したネコマザワの皆さん

## バレーボールで多世代交流！ 家庭婦人バレーボール大会を開催

12月1日、町民体育館で家庭婦人バレーボール大会が開催され、町内5地区から7チームが出場しました。決勝の吉川連合（吉川）と海味キョーティーズ（海味）の試合は、フルセットにもつれる大接戦。力が拮抗した試合が多く、会場は大いに盛り上がりました。また、今大会から、参加要件の年代を緩和。幅広い年代が参加し、バレーボールを通して世代を超えた交流を深めていました。

- ▲大会結果
- ▼優勝 吉川連合（吉川）



▲優勝した吉川連合の皆さん

## 2024シーズンの応援に感謝 モンテディオ山形の選手が表敬訪問

11月14日、モンテディオ山形の小西雄大選手と安部崇士選手が町役場に表敬訪問されました。これは、シーズン終了報告と応援への感謝を直接伝えるため、県内35市町村で行われたものです。

西川町の市町村アンバサダーを務める小西選手は、「スタジアムでサウナトレイラーや応援で盛り上げていただいたことが力になった」と話しました。



▲左から小西選手、内藤副町長、安部選手

## 世界で一枚の卒業証書を作る 西川小6年生が紙すき体験

11月19日、町の伝統工芸である「月山和紙」の紙すき体験を西川小6年生24名が行いました。和紙職人のシブヤナオさん（大井沢）が材料や道具の説明をしながら、紙すきを指導。体験した児童は、「重くて動かすのが難しかったが、上手くできたと思う」「卒業証書として受け取ることが楽しみ」と話し、貴重な体験を楽しみました。

出来上がった和紙は、校章の透かしが入った卒業証書となり、来年の卒業式に手渡されます。



▲丁寧に作業をする児童

## 非日常のプレミアム感でおもてなし！ 観光庁採択事業・特別な体験ツアーを開催

今年度、観光庁から採択を受けた特別な体験の提供等によるインバウンドツアーが11月15日から2泊3日の日程で行いました。これは、地域が持つ資源を有効に活用し、これまでにない特別な体験を提供しながら、地域の目玉となる観光コンテンツを創出、磨き上げていく実証事業です。

今回は、プレミアムな生まれかわりの秋旅として、岩根沢地区を舞台に、出羽三山神社での山形交響楽団による四重奏の演奏会や沼山龍神会の水掛け神輿の渡御など、一般的な観光では決して体験できないメニューを取り揃えました。



▲山形交響楽団による四重奏を堪能

## 走りながら交流を深める にしかわナイトラン♪チャレンジ21

11月16日、Hearsts 21が主催するランニングイベント「にしかわナイトラン♪チャレンジ21」が町民グラウンドで行われました。町内外から42名の方が参加し、ペースメーカーと一緒に21キロメートルに挑戦。6キロごとに休憩をとりながら、小学生から60代の方がペース別の4グループに分かれ、楽しくランニングを行いました。



▲仲間と楽しく一定のペースで走る

## チーム力で総合2位の大健闘！ 西村山地区駅伝競走大会

第70回西村山地区駅伝競走大会が11月10日、朝日町創遊館をスタートに西村山地区を巡る8区間58.8kmのコースで開催されました。本町からは、西川町としては初となる3チームが出場。中学生から50歳代までの選手や、監督・マネージャーなど運営スタッフが一丸となってチームを支え、およそ1か月半に渡る合同練習や試走を経て大会に臨みました。大会では、Aチームの準優勝をはじめ、各チームとも選手の力走が功を奏し、素晴らしい成績を収めました。

- ▲チーム成績
- ▼準優勝 西川A
- ▼第6位 西川B
- ▼第8位 西川C



▲思いを一つにタスキをつなぐ

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。つなぐ課町民つなぐ係

0237-74-2112 tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp



▲メール送信

## 西山杉にふれる 西川小で木工教室を開催！

11月5日、6日に西川小学校で3年生を対象とした木工教室を開催しました。児童たちは町内産西山杉の廃材を活用して、それぞれ自由な発想で作品を作りました。当日は「山やまちから研究会」の大山さんが講師となり、児童たちに工具の使い方を指導。初めて使う工具に最初は苦戦していましたが、大山さんからの指導もあり最終日には思い出の作品を完成させていました。



▲完成した作品と一緒に

## 西川町が誇る伝統工芸の技を学ぶ！

昨年度に引き続き2回目の開催となる、山葡萄つる細工の講習会が11月2日から30日にかけて全5回行われ、前回からの継続受講者11人を含む26人が参加しました。

講習会は後継者の育成を目的に西川町山村活性化地域協議会が国の補助金を活用して開催。実際にかごバックの製作に挑戦しながら材料の扱い方や編み方などの基本的な技術を学びました。参加者の皆さんは細やかな作業に真剣な表情で取り組み、伝統の技を習得しました。同協議会では後継者育成のほ



▲丁寧に作業を行う参加者

か、材料となる山葡萄の栽培実験や販路の拡大にも取り組み、つる細工が持続可能な産業となることを目指して町全体での取り組みを進めていきます。

## 一足早いクリスマス クリスマスリースワークショップ開催

11月23日、大井沢自然と匠館でクリスマスリースのワークショップが開催され、約15名が参加しました。参加者は、山ぶどうつるのリースに、松ぼっくりやどんぐりなどの木の葉、リボン、ベルで思い思いのクリスマスリースを完成させていました。また、折り紙でオーナメントを作り、同館に設置したクリスマスツリーを飾り付けました。



▲素敵なリースをつくりました

## 地域の希望の高い町をめざして！ 行政報告会「西川の今」を開催

11月4日、交流センターあいべで「行政報告会 西川の今」を開催し、200名を超える方が参加しました。

町長から「西川の今」というテーマで、「第7次西川町総合計画」に基づき実施した町の政策を報告。また、町の現状や課題などを説明し、参加者の方から、商工振興や観光振興、防災、寛容性のことなどたくさんの意見や質問をいただきました。今後も町民、西川ファンの皆さんと職員が力を合わせ、寛容性の高い町、地域の希望が高いと感じる町の実現に本気で取り組んでいきます。



▲多くの方が参加

## 町内産原木なめこを味わう 西川小中学校の給食に提供しました！

町では、子どもたちが地元産の産物や食文化に触れ、きのこや郷土への愛着を深めてもらうために、令和4年度から町内産原木なめこを給食で提供しています。

11月13日、「西川町きのこ等生産協議会」の皆さんが作った原木なめこ20キロをなめこ汁として給食で提供。西川小では、生産者と児童たちが一緒に給食を食べ、交流を図りました。子供たちは「スーパード売っているなめこはめりりが違う」「西川町の宝」などの感想



▲なめこ汁として振舞われた原木なめこ

を話しながら、おいしそうに原木なめこを頬張っていました。

## 明るく伸びやかなハーモニー響く いきいき健康コンサートを開催

11月26日、西川町老人クラブ連合会（後藤武志郎会長）が主催する「いきいき健康コンサート」が開催されました。これは、町のいきいき健康活動補助金を活用して行われたもので、ソプラノ歌手の松倉とし子さんと長男でバリトン歌手の望さんが素晴らしい歌声を響かせました。コンサートでは昔懐かしい童謡等、計19曲を披露。また、来場者全員で歌う場面では、会場全体が笑顔に包まれ、感動と幸



▲情感豊かな歌声を会場に響かせる

せにあふれたひとときとなりました。

## 打ち立ての新そばを堪能 第7回吉川そばまつり開催

11月17日、「吉川そばまつり」がかわどい亭で開催されました。町内外から82名の方が訪れ、打ち立ての新そばを味わいました。

そばは食べ放題ということもあり、吉川蕎麦打愛好会（高橋勇吉代表）の皆さんが約300食を用意。地元産の野菜や海老などの天ぷらと一緒に振舞われました。訪れた方は、香り豊かな新そばに舌鼓を打ちました。



▲新そばを味わう皆さん

## 地域の通いの場として活動 海味「いってみっぺ」10周年を祝う

高齢者をはじめとする町民の皆さんの「通いの場・集いの場」である「いきいきお茶のみ会。海味地区のお茶のみ会」いってみっぺ」を運営する西川ドリームクラブが、今年10周年を迎え、11月22日、記念式典と祝賀会が開催されました。代表の奥山妙子さんは、「これまで続けてこられたのは地域の皆さんの大きな支援、住民の皆さんの惜しみない応援のおかげ。深く感謝」とあいさつ。式典後は、祝辞や踊りなどを楽しみました。



▲西川ドリームクラブの皆さん

# 「地域課題を解決するビジネス」を考える 西川町高校生ソーシャルイノベーションコンテストを開催

11月23日、高校生が町の課題を解決するビジネスを考える「高校生ソーシャルイノベーションコンテスト」がトラスで開催され、町内外の高校生4チーム15名が参加しました。

審査の結果、家に居ながらスーパーや地元商店の買い物ができる高齢者支援ビジネス「届けっ隊（とどげったい）」を提案した、大泉咲希（おおいずみさき）さん、佐藤恭佳（さとうきょうか）さんのチーム油井組（ゆいぐみ）が最優秀賞に選ばれました。大泉さんは「西川町はめっちゃ好きで、帰ってくると安心します。一日を通して町のためになることを考えるのは楽しかったです。これからも町の役に立てるように頑張りたい」、佐藤さんは「町外からの参加で不安はあったが、外からの視点を大切に、俯瞰して考えられたと思う。最優秀賞をとれて嬉しい」と話しました。



## 【油井組：大泉咲希さん、佐藤恭佳さん】

### ●ビジネス案（最優秀賞）

タブレット（つながるくん）に、買い物代行から商品の配送まで申し込みできるサイトを構築し、家に居ながらにしてスーパーや地元商店の買い物ができるサービスを提供する。



## 【チーム乙女：奥山杏奈さん、奥山愛由里さん、國分七施さん 飯野心琴さん、飯野友結さん】

### ●ビジネス案

町営バス利便性向上のため、バスの運行情報がスマホなどで確認できるようなシステムの導入と、運賃が一目で分かるモニターを車内に設置する。



## 【GENERATION：井場汐梨さん、真壁未来さん、飯野翠さん 鈴木真央さん、國分夕愛さん】

### ●ビジネス案

夏スキー客向けのバス運行の利便性を向上させることで増益を図り、その利益でバスを購入し、高校生にも町民にも利用しやすい冬季間のバスを増便する。



## 【西川生まれ西川育ち：設楽侑吾さん、早坂星海さん、阿部叶翔さん】

### ●ビジネス案

複数の廃校を利活用し、町内向けの日用品、食料品の他、町外に向けた特産品や、町独自ブランドのアパレル商品などを販売するショップを開業する。



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



12/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,223人 女 2,317人 計 4,540人 世帯数 1,791 ( )は前月比  
(-8) (-14) (-22) (-10)